

JPI 催しのご案内

第7回

パッケージイノベーションセミナー —パッケージを進化させる新たな技術や考え方—

開催日：平成29年3月17日（金）

会 場：TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 ホール2B

主 催：公益社団法人日本包装技術協会

■開催にあたって

当会では、新しい包装の価値を創出するような情報の紹介を中心として、デザイン、マーケティング、販売戦略、分析情報、環境対応事例、感性工学・認知工学、消費者へのPR等、様々な分野からのテーマで構成する「パッケージイノベーションセミナー」を開催しております。

今回のセミナーでは、包装に応用できる新しい技術の提案として“バイオミメティクス（生物模倣）”“錯視”の紹介と、商品開発における様々なアプローチ方法として“静岡市と民間企業との開発プロジェクト”“詳細な調査データからの好感度調査”の紹介を通して、今後の包装開発を考察します。どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

時 間	講 演 テ ー マ	講 師
10:00 ▼ 11:10	「バイオミメティクス（生体模倣工学）の包装技術への応用」 生物の優れた機能を模倣して我々の生活に役立てる生体模倣工学「バイオミメティクス」により溶液を用いた「ウェットプロセス」から、様々な機能性薄膜が開発されて来ている。植物、動物を問わず特殊な環境で長く生息してきた生物は、独自の手法で生き続けるとともに、変動する環境に応じて変化を遂げて来た。池の上で大きく広がるハスの葉は、水玉を弾く性質があり、講演者らもその特徴に魅せられ、いろいろなコーティングを開発してきている。ヨーグルトの付かない蓋材、超撥水スプレー、撥水洗車機、子供用玩具にはじまり身離れの良い食品パッケージなどである。ハスの葉は油を弾かないが、食虫植物のウツボカズラは油滴を滑らせる。カタツムリの殻は油に汚れづらい。貝殻は砂が付着しても落としやすい。クモの巣は、強い風は透過してしまうが、獲物をしっかり捕獲する。 本講演では、バイオミメティクスの包装技術への応用を中心に、表面界面現象を活用した機能性薄膜に関して紹介する。	慶應義塾大学 理工学部 物理情報工学科 総合デザイン工学専攻 教授 白鳥 世明 氏
11:20 ▼ 12:30	「錯視の科学と錯視を応用したパッケージ技術について」 錯視とは視覚が起こす錯覚のことです。例えば存在しないものが見える錯視、同じ色なのに違って見える錯視、本来の形とは違う形に見える錯視、静止画なのに動いて見える錯視など、さまざまなものがあります。これらの錯視は、網膜から始まる脳内の視覚情報処理の過程で生じています。しかし、脳がどのようなメカニズムでこれらの錯覚を生み出すのか、未解明な点も多々あります。講演者はこの問題に、脳内の視覚情報処理の数理モデルを作ることに取り組んでいます。数理モデルとは、模型のようなものですが、ただその部品は数式からできています。これをコンピュータに実装すると、コンピュータが錯視をまねしたり、錯視を作ったりします。 ところで、錯視を利用する芸術に錯視アートがあります。従来は既存の錯視図形を利用している事が多かったですが、しかし本研究成果を用いると、アーティストあるいはクライアントのコンセプトにあった錯視を作るというところから始められるようになりました。本講演では、いろいろな錯視の例をご覧いただきながら、錯視の数理モデルによる研究とはどのようなものか、そしてそこから生まれる新技術についてパッケージ利用という観点から説明します。錯視や数学の予備知識は要りません。	東京大学 大学院 数理科学研究科 教授 新井 仁之 氏
13:30 ▼ 14:40	「地域の中小企業初 “新・静岡土産”『静岡おみやプロジェクト』」 静岡市産学交流センターが平成21年から進める「静岡おみやプロジェクト」は、地域の豊富な資源を生かし、市内の中小企業者が新しいお土産品を生み出す商品開発プロジェクトです。毎年公募で採択された6社の参加事業者が、マーケティングアドバイザー、フードコーディネーター、デザイナーのサポート受け、約10か月をかけて、商品開発から販路開拓・販売までを一貫して実践します。これまで開発された商品は全部で48品。豊富な開発事例をもとに、静岡おみやプロジェクトの取り組みをご紹介します。 ・事例1：老舗わさび漬け屋の挑戦！—漬物グランプリ2016でグランプリを受賞— ・事例2：漬物メーカーがピクルス専門店をオープン！—地元にも愛される有名人気店に— ・事例3：茶処静岡のお茶屋が斬新なパッケージに—お土産力のあるお茶とは—	B-nest 静岡市産学 交流センター 企画・事業スタッフ 井石 知里 氏
14:50 ▼ 16:00	「日本最大級のパッケージデザインデータベース 『2000商品 8万人 調査から見るパッケージデザイントレンド』」 過去2年間、8万人を対象に行ったパッケージデザイン調査から、パッケージデザインのトレンドや性別によるデザインの見方の違い、企業のデザイン力分析など、データから見るパッケージデザインの今をご紹介します。また、企業別にデザイン力をスコア化。データをパッケージデザイン制作にどう活かすべきかについてお話しします。調査は20代～50代の男女、1商品につき1000人のWEBアンケートを実施。デザインの好意度や好意理由を抽出。カテゴリー別のデザインランキングの他、キーワードに最も合うデザインの検索・分析も実施。下記22のカテゴリー対象。 ①ビール ②チューハイ・カクテル ③アルコール類 ④炭酸飲料 ⑤お茶・コーヒー ⑥お茶・コーヒー（インスタント） ⑦飲料 ⑧調味料 ⑨鍋つゆ ⑩カップ麺・袋麺 ⑪スープ類 ⑫デザート類 ⑬常温食品 ⑭冷凍・冷蔵食品 ⑮チョコ・飴・グミ ⑯アイス ⑰スナック菓子 ⑱菓子 ⑲基礎化粧品 ⑳メイクアップ化粧品 ㉑トイレットリー ㉒医薬品	株式会社ブラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏

講演者ご紹介

●白鳥 世明（しらとり せいめい）氏

慶應義塾大学 理工学部 物理情報学科 総合デザイン工学専攻 教授

早稲田大学理工学部電子通信学科卒業

東京工業大学理工学部博士課程電気電子工学専攻卒業、博士(工学)

1994年 慶應義塾大学理工学部助手

1997年 同大学 専任講師 同年米国マサチューセッツ工科大学客員研究員

2000年 慶應義塾大学理工学部准教授

2014年 慶應義塾大学教授

著書：『撥水・撥油の技術と材料』（シーエムシー出版）、『新コーティングのすべて』（加工技術研究会）

●新井 仁之（あらい ひとし）氏

東京大学 大学院 数理学研究科 教授

1984年 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了

1985年 早稲田大学教育学部 助手

1986年 東北大学理学部助手 その後、講師、助教授

1996年 東北大学大学院理学研究科 教授

1999年 東京大学大学院数理学研究科 教授

現在に至る

理学博士

著書：『ウェーブレット』（共立出版）『<錯視>だまされる脳』（編著、ミネルヴァ書房）他多数

●井石 知里（いせき ちさと）氏

B-nest 静岡市産学交流センター 企画・事業スタッフ

東京農業大学応用生物科学部醸造科学科を卒業後、食品メーカーに8年間勤務。

開発部に所属し商品開発を担当。

その後、現職である、静岡市産学交流センターにて静岡市の事業の企画・運営を行っている。

主な担当事業は、静岡おみやプロジェクトと学生向けの起業家育成支援事業。

●小川 亮（おがわ まこと）氏

株式会社ブラグ 代表取締役社長

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、キッコーマン株式会社にて、宣伝部、市場調査部、販促企画部で、商品開発、消費者調査、マーケティング戦略立案などに従事。

1999年慶應ビジネススクールにてMBAを取得した後、(株)アイコーポレーションにてデザインビジネスを展開。2014年に調査会社 CPP と合併し、(株)ブラグへ。

パッケージデザイン・消費者調査・商品開発の3分野を手掛ける。

(公社)日本パッケージデザイン協会 理事

著書：『図解でわかるパッケージデザインマーケティング』（日本能率協会マネジメントセンター）

開催要領

日時：平成29年3月17日(金) 10:00～16:00

会場：TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 ホール2B

東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原2F

定員：80名

参加費：会員18,360円(消費税8%、テキスト代含む)

* 同時に3名以上でお申し込みの場合には割引価格として

1名 15,120円

一般27,000円(消費税8%、テキスト代含む)

申し込み方法

■下記申込書に必要事項を全て記入の上、FAXにてお申し込みください

協会 HP からの申し込みも出来ます。協会 HP：http://www.jpi.or.jp

■申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします

■開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方がご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(当日、名刺をご提出いただきます)

お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会

パッケージイノベーションセミナー係 担当：竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL. 03(3543)1189 / FAX. 03(3543)8970

e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第7回パッケージイノベーションセミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。

2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

【会場案内図】

TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 ホール2B

東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原2F

■交通手段：JR 山手線 秋葉原駅 電気街口 徒歩 4分

JR 京浜東北線 秋葉原駅 電気街口 徒歩 4分

JR 総武線 秋葉原駅 電気街口 徒歩 4分

つくばエクスプレス 秋葉原駅 徒歩 6分

東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 3出口 徒歩 7分

東京メトロ銀座線 末広町（東京都）駅 3出口 徒歩 6分

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B2出口 徒歩 7分



第7回パッケージイノベーションセミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内行

FAX.03-3543-8970 No.

会社名						JPI 会員・一般（どちらかに○をつけて下さい）
所在地	(〒)					
電話					FAX	
受講者	氏名	所属役職			e-mail	
	氏名	所属役職			e-mail	
	氏名	所属役職			e-mail	